

補助金チェックシート(新規)

作成年度:令和3年度

1. 補助金の内容

補助金名称	枚方市認定こども園特別支援教育費補助金		補助金番号	C2-22	
所管部署	子ども未来部 私立保育幼稚園課				
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市認定こども園特別支援教育費補助金交付要綱				
制定状況	○ 制定済 →				
	○ 未制定 →		令和5年2月制定、令和4年4月1日遡及適用		
交付の目的	特別な支援を要する幼児(1号認定子ども)のために職員を加配する市内の認定こども園の設置者である社会福祉法人に対し、認定こども園特別支援教育費補助金を交付することにより、特別な支援を要する幼児の健やかな成長を支援するとともに、支援教育の充実を図る。				
補助対象経費	特別な支援を要する幼児のために加配している職員の人件費				
補助率・補助額	その他				
交付先	市内の社会福祉法人が設置する幼保連携型認定こども園及び保育所型認定こども園				
開始年月日	令和4年4月1日(確定)		サンセット期日	令和6年度末	
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助	事業費補助	その他	○
法令等での義務付け	なし	法令等名称			

2. 予算要求額

(千円)

	月補正	令和4年度当初予算
要求(予定)額		4,680
特定財源	国庫支出金	0
	府支出金	0
	その他	0
一般財源	0	4,680

(件)

交付見込み件数	2
---------	---

3. 「補助金の見直しに関する方針」との整合性

①補助金交付の基本的な視点(いずれかが不適合の場合は補助制度として承認されません)

視点	チェックポイント	チェック	理由・詳細等
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓	特別な支援を要する認定こども園の入園児について、加配職員を手当てすることで幼児の健やかな成長を支援することができ、広く市民の利益に貢献する。
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓	特別な支援を要する幼児の保育にあたり、職員加配が促進されることで、支援教育の充実が図られるため、必要不可欠な補助金である。
	現在の社会経済情勢においてニーズが高い又は高いニーズが見込まれる。(ニーズを把握している)	✓	各施設において特別な支援を要する幼児は増加しており、本補助制度を創設することで当該幼児の保育環境がより良いものとなることから高いニーズが見込まれる。

有効性	期待する効果をあげる見込みがある。(具体的な効果測定方法が確保されている)	✓	各施設において特別な支援を要する幼児は増加しており、本補助制度を創設することで当該幼児の保育環境がより良いものとなり、期待する効果が見込まれる。
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓	入園児の異動等の状況に応じて、各施設で特別な支援を要する幼児に対し、職員を加配することができ、また加配も促進され、当該幼児の特別支援教育の質が向上されるため、業務委託や直接執行と比較し、補助金交付がより適正で効果的な手法である。
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓	学校法人が設置する認定こども園に対しては、既存の補助制度があるため、社会福祉法人が設置する認定こども園にも適用する合理性がある。
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓	部分補助であり、市の要綱に定めた基準で算出した補助金額を支出している。
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。(補助金交付要綱の整備など。)	✓	交付要綱に定めており明確である。
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できる。(ホームページでの補助制度の公表など)	✓	交付要綱に定めており、各園に周知している。

②補助金性質分類別の視点

[その他]

該当	チェックポイント	チェック	理由・詳細等
○	他の類似制度と重複が無い確認をしている。	✓	類似制度と重複は無い。